日本基督教学会編

日本の神学 61 (2022 年版)

――シンポジウム 内村鑑三と日本のキリスト教――

A 5判・並製・210頁・定価 3,080円 (本体価格 2,800円+税)・ISSN 0285-4848

講演 「自分も哲学者に成りたくなつた」

論文 エマヌエル・ヒルシュの神学的歴史理解と政治的言説の関連性について

注意と軽蔑

書評 並木浩一『ヨブ記注解』

大野惠正『神の言葉と契約』

小林昭博『同性愛と新約聖書』

村松晋『近代日本のキリスト者』

神山美奈子『女たちの日韓キリスト教史』

安酸敏眞『キリスト教思想史の隠れた水脈』

藤本憲正『ハンス・キュングと宗教間対話』

津田謙治『神と場所』

手代木俊一『日本における讃美歌』

石鍋真澄『教皇たちのローマ』

ほか

シンポジウム 「内村鑑三と日本のキリスト教」

関根 清三

岡﨑 祐貴

堀 真悟

評者 魯 恩碩

評者 山吉 智久

評者 新免 貢

評者 小室 尚子

評者 藤原佐和子

評者 加納 和寛

評者 福嶋 揚

評者 茂 牧人

評者 山本 美紀

評者 加藤磨珠枝

赤江達也、洪伊杓、ミラ・ゾンターク